

台数が集まらない 高齢化

JMRC に属するクラブに入っていない参加者を排除する方向に動いているようですのでフェードアウトしていこうと思ってます。草イベントの今後には期待してますし、公式戦の今後には期待はあまりありません。

主催の負担が大きくなる。参加者としてはそれを察して何も要求できないため年々寂しい大会になっていると感じる。

クラス分けやタイヤ規制が複雑で、入りにくいです。スポーツですから、全国统一、シンプルが好みです。

選手が上にあがろうと思える環境を作って欲しい。

もっと参加者が増やす努力を皆で考えるべき（地方だとなおさら）

規定が難しすぎて参加型と言いながら参加しにくい。もっとゆるい規則(安全装備は別)でとりあえず手持ちの車で出られる併設クラスがあると良いと思います。

具体的な案が思いついていないので投げやりになってしまうが、素直な感想として初心者がとても参加しにくい現状は感じている。また、ある程度仕方のないことだとは思いますが、例えば県戦が参加台数が少ない現状を、少ないと言いながら参加を待つだけで、参加者を獲得しようとする動きが本気で改善しようとするものがないように感じる。初心者に向けての広報に力を入れていかないといけないと感じている。また、初心者にとっては参加料の高さも参加しにくさに影響を与えていると考えている。

簡素化、IT化が少しずつ図られているが、レアケース想定に及び腰なのか、申込書、車両申告書の簡素化に取り組まないのが残念です(関東)

全てが澱んで停滞しており、以前ほどの魅力がなくなりました。

申込み方法が古すぎて申込みにかなり抵抗を感じる。クラブや仲間内に頼らずとも、興味を持った人が参加できるよう、ネット申し込みと決済くらいは対応してほしい

東海も JAF メダルがほしい

賞金の振り分けを、クラスのみから全参加クラスまとめて一律にすれば、片寄った参加台数を回避出来るのでは？(反対が多いのは覚悟の上)

JAF と JMRC の解離があり、全日本を頂点とするジムカーナのヒエラルキーが無くなっており、競技会の大きな魅力が無くなっている。全日本選手の参加資格に、数年内での地区戦上位成績が無いと出場できないなどの工夫があっても良いのではと思います。

もっと色々な人や車両が参加して欲しいと感じます。

C 地区だと、CH 戦は上位イベント同様ワンデイイベントでない(前日練習参加しないと不利になる為)なので、東京から遠い会場だと参加しない。県戦は、上位の規定に引っ張られて参加しても台数少なくいつまらない状態。全日本・地区戦とは、規定自体切り離れた方がいいと思う。

ジムカーナへの想いを抱き身銭を切ってまで努力し主催されているチームの方々にはただただ感謝申し上げる次第です。しかし、参加者も減る一方であり、主催側も限界を迎え、主催をやめるチームが増えてきています。とはいえ、では私が・・・とはなりません。リスクが大きすぎます。あと数年でジムカーナ競技会は主催者不在となり開催されなくなっていくと感じています。そうならないためにはどうしたらいいのか。

①「お金が出せないならジムカーナ辞めれば良い」という意見を聞いたことがありますが、お金や時間がなくてもマイペースで気軽に参加できるような雰囲気が必要だと思います。(選手含めたジムカーナに関わる全ての人で作らなくてはいけない雰囲気です) ②「コースが覚えられない」という理由でジムカーナにハードルを感じている意見を聞いたことがありますが、コースは事前発表でも良いように思います。 ③当日コース発表以外にも、郵送による申込などハードルを感じるものが多少ありま

す。web 入力や PDF 送付でも良いように思います。④主催者への連絡先が固定電話しか開示されていないケースがあり、当日の急な連絡が取りづらいことがあります。主催者の連絡先として携帯電話も併記されていると良いように思います。

台数減が著しい。少ない台数に見合った開催(主催の負担軽減)または広域化を進めるしかないと感じる。

全日本ではまだまだインチキが横行しているし、誰でも出られる全日本には何の興味も湧かない。

過去に参戦していた者からすると、無理に復帰しようとは思えない。魅力が薄い。

参加者視点の必要性

サイドターンが減ってますね 完全に EPB になってないのだから、サイドターンは、残してほしい

県戦は初心者の登竜門と認識しているが、PN クラス自体が初心者向きではないと思われます。自分も専門知識のある知人がいたので車両を作成できたが、そういう環境が周りに無いと参加・・・というよりも申し込み自体が狭き門になっているように見受けられました。あと、神奈川戦では Web フォームでの入力で申し込みを受付けるようになり、参加しやすくする工夫をしていますが、千葉東京では紙ベースでの申し込みなので、敷居が高くなって思います。

若い人が増えた瞬間も有ったのですが、現状高齢者競技になっています。ジムカーナ本来の「参加型・手軽」に戻って欲しいです。(無理でしょうけど)

クラスが多すぎて参加者がバラけてしまっている。参加型モータースポーツなので皆が満足できるようにクラスが多く勝者が多いというのもいいが温いと思う。

イベント数が多すぎて参加者の負担が大きすぎる。

タイヤにかかるコストがどんどん上がっているの、金銭的につらくなってきたと感じます。

最近ではビギナーの女子の輪が増えてきて良いことだなあと オートテストからジムカーナへ行く人が増えて欲しい。

参加車両名の 15 文字規定については、車種によってサポートやスカラシップに申し込める数が変わってしまい不公平だと感じる。車種名を除いて 10 文字、のようにするか、車種名が 5 文字以上の車種の場合は車種名を略できるようにするなど、変更を求める。

若手が少ない。ギャラリーは基本関係者のみ。

北海道の地区戦は、徐々により良い方向に持っていこうとしていて 実際、参加しても覚えやすく、攻めがいのあるコース盛り上がる MC など、いい方向に進んでいると思います 成立していないクラスを今のメンバーをステップアップさせることで成立させようとするのは、いいと思いますがお互い、嫌な思いをしないようなやり方の方が良いのかな、と思います

地味な競技だと承知していますが、自動車部でもない限り地方大会で若手の参加は少ないです。オートテストからジムカーナに繋げようという動きは、個人的に参加車種の違いやジムカーナ参加時に知り合いがいなくてよそ者感を強く感じて難しいと思ってしまいます。具体的な解決方法がないのでただの批判になってしまい、すみません。

以前他の参加者とも話しましたが、地区戦までは 1day イベントで行って欲しい仕事や家庭の用事を調整して参加している中で、前日練習を走れる人、走れない人の差が生まれてしまうのが理由です地区戦を全日本へのステップアップとして走るのは個々の自由ですが、全日本のトップ争いをするような選手が居座るのはどうなのか？とは思いました(全日本枠等を作って、走れば全体の刺激になるとは思いますが)

地方選手権、県戦に関わらず PN を盛り上げるという気持ちは理解していますが、車両規則やクラス区分を現参加者の都合などで変えていくと初参入組はルール確認するだけで抵抗感が増えます。また、クラスが分かれる分だけ参加台数が減り不成立の確率が上がります。そうすると、初参入組はクラスが成立しないなら出ない。となり参加者を増やす機会を失ってる可能性もあるのかな？と感じます。また、車好きだとマフラー変えたりタイヤ幅を変えていたりすると思いますが、BRZ や 86 でそういう楽しみをしている方が参加するクラスが公式戦には無いと思っています。

PN は不適合でありB車クラスだとそこそこ改造してグリップするタイヤを用意しないと勝負にならない。入口を広げるのであれば、ミドル戦位まではそういった方々を受け入れる規則があっても良いと思います。

サイドターンなしのジムカーナが主流になったらつまらないかなと思うのでこのままでもいいかなと思います

・敷居を下げて参加しやすくと言いながら、これから伸びてくるであろうボリュームゾーンの改革ばかりで、末端にいるものには関係のない世界の話になっている。

クラスによっては JAF 関東地区戦とチャンピオン戦のレベルが逆転しているように思える。他地区を見ると必ずしも全日本に準拠したクラスではないので、地区戦は参加層が多いクラス区分に再編成してもよいのでは。

東北地区の公式戦は地区戦・都道府県戦を併催していますが、それでも参加者が少ないのが現状です。一方、関東地区の非公式戦ジムカーナや非公式戦レースの東北 660 選手権などは非常に盛り上がっていると感じます。具体的な案があるわけではありませんが、競技人口を増やすには、このような競技会に学ぶべきところがあるかもしれないと感じます。

JMRC シリーズの参加者は少ないが、ビギナーズジムカーナや本庄 SGS などのシリーズは盛り上がっているため、その差はどこにあるんだろうかと思っている

(1)PN クラス創世記の車両の居場所がない (2)過去に比べると人口が少ない (3)とは言え同世代の若者も多いので、誘致等によっては競技人口が増えるのではと期待

道具にお金がかからないようになるべくしないと、どんどん人口が減ると思います。

上位陣が楽しむだけでなく、もう少し初心者に寄り添ったクラス区分を作ってもいいと思う。

タイヤ性能差競技会に成り下がっている

キッチンカーを呼ぶ等ギャラリーしやすい環境作りが普及率を上げる為に必要ではないかと思います。

近隣地区とのポイントの融通で遠征も出来るようになれば良いと思う

AT クラスに配慮し過ぎたコース設定は如何なものか？ターンできないならできないで、大回りすれば良いだけでは。

県戦も地区戦もJMRCの冠が付くだけで地区戦と十羽ひとからげで公式戦と勘違いする人がいるみたいで、敷居の高さを感じるという話を聞きました。JMRCタイトルの名前を前面に出すのはサブタイトルにして、敷居の高さを感じにくいイベント名称にして、最初の入口を入りやすくできればいいと思います。

参加者が多く賑わっているイベントもありますが、地区戦や県戦は台数が減り寂しく感じます。どうしたら参加者が増えるか、参加者が多いイベントはなぜ参加者が多いのかを主催者がもっと真剣に考える必要があると思いますし、参加者も意見を上げたり協力していく必要があると思います。

JAF への上納金が不透明な感じがします。競技会 1 回でいくら払ってるのか？エントラントも知る権利はあると思う。

県戦は日程が被り過ぎて只でさえ少ない参加者の取り合いになっている。正直、すべて統合して 1 シリーズとしても良いのでは？

参加者が減っている割にクラス分けが多すぎる

競技者が高齢化して、一部玄人化・マニア化しているように思います。一日がかりのイベント

競技人口はなかなか増えませんが打開策が無いのが現状ですね。ローカルイベントの方が増えていると思います。オールスター戦くらいとなると TW280 クラスの台数を増やすのは現状のタイヤ規定では難しいですね。

一部主催者の競技長から横暴な発言や暴力行為があった。今後、主催は辞めさせてほしい。

現状維持(停滞)→退化の流れは明らか。選手も主催者も今より良いイベントにしよう、という思いと、それを行動に移さなければジムカーナの将来は無いと思う。

<p>前日練迄入れると2日も潰さないで勝負権がなくなる競技になってしまったのです。私はイベント当日2本で勝負がつくジムカーナがしたいです。一年それを通しています。まあ夜が楽しいのは分かります笑</p>
<p>閉鎖的で、広報がほとんどなされていない。知人に観戦を勧誘する際の資料にも乏しい。</p>
<p>選手権の衰退と対比して、関東Ch戦や関東各所の草ジムカーナが盛り上がっている。選手権の運営方針と参加者(特に裾野)のニーズが乖離している。ジムカーナをやりたい/始める人は変わらずいて、草ジムカーナを中心に競技人口も維持できているが、公認競技会、特に地区戦に出ようとしない。ステップアップを志向させるだけの魅力が選手権にない</p>
<p>中部は本当に楽しく参加させて貰ってます。賞金があればもっと嬉しいです！</p>
<p>エントリー負担を減らすべき。ネット申し込み、かつ統一フォーマット化</p>
<p>なあなあでやっているように思える。日時もタイスケも規則も守れない、守らなくなる。競技会の質が下がり、ジムカーナ離れに繋がっているとかんじます。申し込みが面倒、その手順・用紙がベストなのか？</p>
<p>裾野が広がっていない。下位のカテゴリーに上位の選手が多く出ていて、初心者が参加するのに気が引ける(自分は初心者)。</p>
<p>シリーズ戦が、多いと思います。</p>
<p>オーガナイザーが各種持ち回りなので、申し込みやルールの解釈が異なるのが大きな問題。やはり、ドリフトなどと同じで、オーガナイザーは統一するべき</p>
<p>九州では、会場が1ヶ所となってしまったので、場所の確保が必要。</p>
<p>関東地区の10戦は多い。各都県部会の金儲けのために無駄に回数を開催している印象があり、エントラントファーストではない。いつまでも主催ファーストの姿勢でやっていたら、関東地区戦ですらいつかはなくなると思っているし、現状そっちに近づいてると思う。エントラントファーストという意味では、公式戦はオンライン申し込み必須にし、受理書の郵送もやめるべきである。</p>
<p>ターンばかりでつまらない</p>
<p>関東の都県戦からスポット参戦者が増えればいいと思いますがクラス、タイヤ規定の違いからかほとんどいないのが残念です</p>
<p>参加台数が少ない割にクラスが多すぎてクラスが成立しない場合もあり、本来の「競争する」という意味が失われている。</p>
<p>敷居の高さを感じて前日練習のみ参加する方を地区戦で自由(?)に走ってもらえるようにしたい</p>
<p>認知度が非常に低いと思う。もうちょっと世間に注目されるスポーツになる方法はないか</p>
<p>全日本を始め、ターン区間が少なくなって不満</p>
<p>主催者、JMRCが走らせてやっていると考えている</p>
<p>九州地区のジムカーナ会場不足は深刻だと思います。中部・近畿地区においても使えなくなってしまったコースが多数あり、何とかならないものかと考えていますが、サラリーマンで資産も持っていないため会場オーナーになることはできません、それでも何かできることはないかと日々考えています。</p>
<p>昔の映像を観させてもらくと、グリップも低く足廻りも柔らかく縁石で飛んだり躍動感があって観ていて楽しい。今は早いんだけど地味な感じが観ていて今一つかと思えます。PNタイヤをアドレナリン程度に押さえるとどうでしょうか？</p>
<p>趣味にしてはお金かけすぎだと思ってます。</p>
<p>特に県戦の参加台数が減少傾向にあります。広い意味での競技人口は減っていないように感じます。やり方次第で参加者を増やす事は可能だと思います。</p>

自分自身に言える事ですが、平均年齢が上がっているの、若者にもジムカーナの楽しさを知ってもらい、もっと若い参加者が増えて欲しいです。
申込みを郵送ではなくWEB完了とするのは急務
3本走行または2本+練習1本になるとよい
内向きの開催で認知度が上がらないことで参加する人の高齢化、減少が起きている。
・初心者が入りやすい状態ではない
車両の性能の違いではなく、ドライバーの技術勝負となるコースレイアウト設定を、今後も心掛けて欲しいです。ジムカーナはドライバーの腕次第で勝てる競技だと今でも思っています。
車が不要な層が増えたため新規を望みが低い、せめて興味を持った人が気軽に参加できる敷居の低いイベントから底辺を増やさないといけない
競技参加者以外を大会見学に来させる工夫がないと、趣味のスポーツである以上、このまま高齢化して数十年後には衰退してしまうような気がしている。実際、若年層は大学自動車部出身の人間ばかりのように思える。公式戦・草大会・練習会等の各運営の皆様には頭が下がるばかりだが、D1やラリーのように見に来るだけでも面白い工夫があり、JAFも含めた広報的な活動がもっとできると良いと思う。D1化するには全シリーズを統括して宣伝するような団体が必要かもしれない。競技内容だけ聞くと地味な印象を受けるので、レベルの高いJAF戦に見学に来させる必要がある。
若い人が参加しない限り高齢化の一途で、参加者も減る一方。特にタイヤの価格は参戦費用の大半を占めるし、消耗品であるので、タイヤの費用を抑えて、減らないタイヤで環境負荷を下げることも重要であると感じる。もし、観戦者などを増やしたいのであれば、ショーの要素が必要になると思う。採点競技にするとかもありなのかも。現在までの日本のジムカーナは、自己満足の世界だから、素人には外からは面白さが分かりにくい。タイヤのグリップが低くなれば壊れにくくなるので、ランニングコストも抑えられるでしょう。ある程度パワー差も影響度が低くなる。
車両保管が長いと思う。再車検終了した時点で再走行する事が無いので、荷物を早めに片付け出来たらと思います。
中部地区戦はかなり盛り上がっていて良いと思います。
参加させてもらえる時は楽しんでいます。逆に楽しめないイベントには出たくないかなと思います。
ジムカーナの中級者層が多い印象で、初心者はかなり少ない(新規参加が少ない?)と思います。競技存続のためには新規参加を増やせば良いと思ってます。
SGS、G6では参加者は多数いて、モータースポーツ人口が減っているようには感じない。しかし都県戦は壊滅状態なのが現状です。都県戦のあり方を考える必要があると思います。どのようにすれば良いかがわからないのがもどかしい。オールスターの人数減少はチャンピオン戦の人数増加とリンクしているので、あまり気にしなくても良いと考えています。
関東を中心に参加していますが、コースジムカーナとパイロンジムカーナが混在しているのは良いと考えます
サイドターンを無くす方向に感じるが、残してほしい。
本当は、全日本ジムカーナとのルール統一化が望ましい。しかしながら、全日本ジムカーナのルール自体に問題があるので、今の地区独自のルールの在り方も仕方ないと思う部分もある。できれば、各地区JAF地方選手権のルールだけでも、全国统一できれば、JAF CUPがもっと楽しくなると思う。
参加者、主催者、共にレギュレーションに対する知識が不足し、競技の運営が不健全である。
中部の地区戦以上はお金が掛かりすぎる規則で普通の職業の方は継続出来ない。
ドライバーの力量に応じたイベント分けを行ってほしい 現状初級イベントのはずなのに地区戦クラスのドライバーが荒らすためにチャンスはない
関東は人口からか参加が多いので良いですが、他の地区は.....。

どのカテゴリーよりも腕が勝負で、すごい事をしているのに...ラリーよりもレースよりも下に見られるのが悲しいです。ジムカーナの価値を上げる工夫を今後考えたいです。

運営、進行、内容など、参加者にとって今の時代に沿った楽しいイベント性のある協議会になって欲しい。規則も含めて改善が必要。